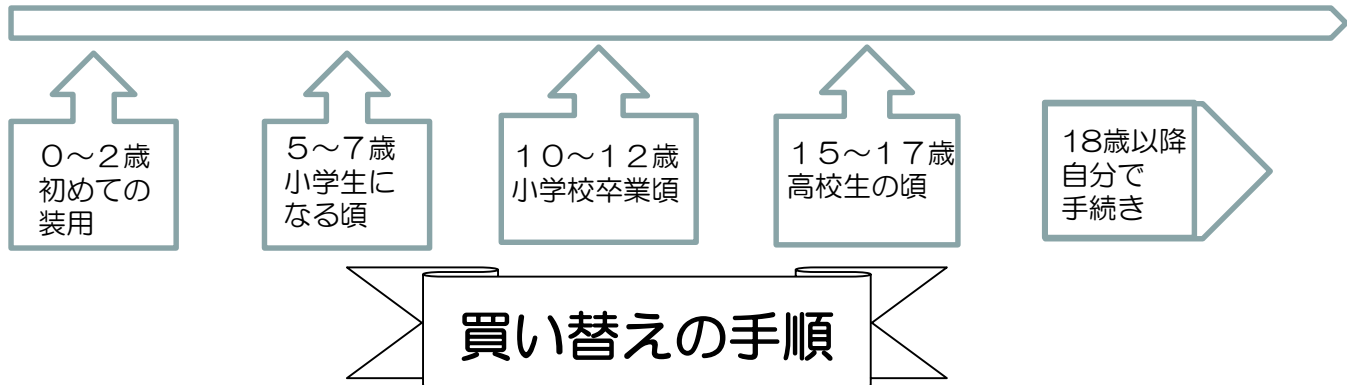


* みみだより * 第6号

2020. 10. 20
埼玉県立特別支援学校
大宮ろう学園 聴覚支援担当
choukaku@ohmiya-sd.spec.ed.jp

補聴器の買い替えについて

原則5年おきの買い替えを予定したとして、ざっと自分の買い替え時期の見当をつけてみましょう。その際18歳をひとつの区切りとして考えると分かりやすいです。というのも18歳を過ぎると児童ではなく成人の扱いになります。また福祉では原則両耳ではなく片耳のみ認められています。学生のうちの方が両耳装用が認められやすいので、学校にいる間に買い替えができるよう計画を立ててみましょう。以下例を挙げて買い替え時期を見ていきましょう。自分に当てはめて考えてみましょう。



1. 居住地役所の福祉窓口で買い替え可能か相談。（特に5年未満の場合）
2. 病院を受診し、「**意見書**（有料）」を作成してもらう。
3. 役所に「再交付申請書」と「意見書」を提出。



試聴開始・購入器種決定

4. 補聴器業者に「**見積書**」を作成してもらう。見積書は業者より役所に提出。
5. 役所から「補装具費決定通知書」と「**支給券**」が交付される。※通常見積書提出後1週間程度
6. 業者へ利用者負担額を支払う。
「支給券（記名・捺印）」を業者に提出する。
7. **補聴器**を受け取る

*実際の手続きや利用者負担金については、各市町村福祉窓口にてご確認ください。

両耳装用と片耳装用の違いとは??

校内を巡回した時や聴力検査の際に今まで補聴器を両耳装用していた子が片耳装用になっている場合があります。理由を尋ねてみると「片耳だけでも聞こえる。」というような回答が多いです。経済的な理由やそれぞれの家庭での考え方もありますが、一方で医師や補聴器業者は両耳装用を勧めている場合がほとんどです。(子どもの聴力によります。)今回は片耳装用と両耳装用の違いについて紹介しますのでご家庭でも補聴器について親子で話してみましよう。(よくわかる補聴器選び2017版P50-52より)

両耳装用の利点

①どちらから話されても聞こえる

→つねに補聴器のある方からだけ音があるわけではないですね

②方向感が得られる

→片耳だけでも少しは得られますが、左右の耳から入る様々な時間差などの情報を元に分析をしています

③言葉が理解しやすくなる

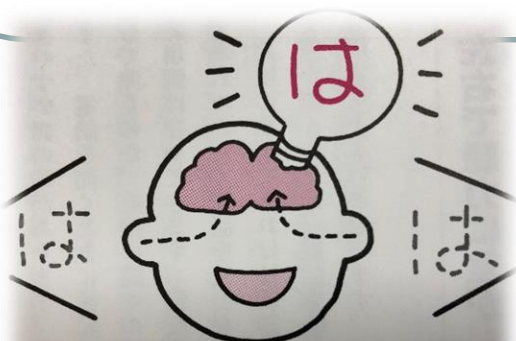
→人間の脳は両耳から音が入った方が処理がスムーズにいき言葉も理解しやすくなると言われています。両耳から音が入ることで加算効果が働き、聞き取りやすくなります。

④聞こえの回路の劣化を防ぐ

→耳に入った音は脳でいくつかの神経を経過して音として感じられます。ところがその神経を使わないと劣化して聞き取りが悪くなる場合があることが報告されています。

⑤疲れにくい

→眼鏡と同じで片方だけを使っていると疲れます。両耳を均等に使う事で無理がなくなります



●より言葉が理解しやすくなります



●左右どちらから話をされても聞き取れ、方向感も得られます

※11月のリオネット大宮店の補聴相談日に変更があります。
11月16日(月)から11月18日(水)に変更になりました。